

慢性骨髄性白血病解説動画視聴による 薬剤師の理解度向上効果の検討

P-211

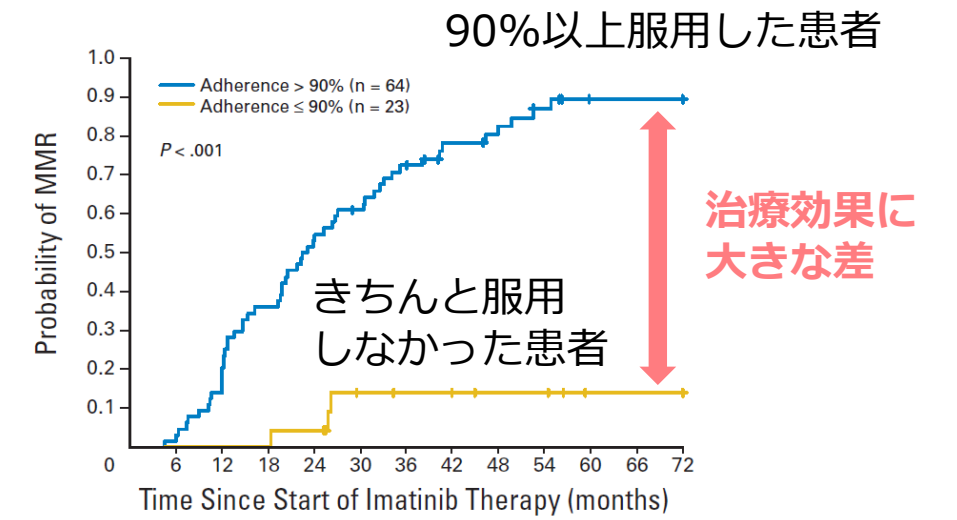
～慢性骨髄性白血病（CML）治療環境向上プロジェクト～

○細矢 和久¹⁾²⁾、齊田 征弘³⁾、多田 裕子⁴⁾、古賀 真美⁴⁾、木村 晋也⁵⁾

1) 佐賀大学医学部附属病院 薬剤部 2) 佐賀大学医学部附属病院 臨床研究センター 3) 株式会社パル・オネスト
4) 認定NPO法人がんネットワークジャパン 5) 佐賀大学医学部内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科

目的

慢性骨髄性白血病（CML）はABLチロシンキナーゼ阻害剤（TKI）の登場により、治療成績が劇的に改善された。TKIの効果を最大限に引き出すためには90%以上の服薬アドヒアランスが必要とされ、そのためには薬剤師による服薬指導が重要である。TKIは院外処方での調剤される機会が多いが、保険薬局の薬剤師を主な対象としたCML教育プログラムは存在していない。この度、認定NPO法人がんネットワークジャパンは「慢性骨髄性白血病（CML）治療環境向上プロジェクト」を立ち上げ、血液内科医によるCML解説動画などを掲載した薬剤師向けの特設サイトを（https://www.cancernet.jp/cml-videos_for_Ph/）を開設した。今回、本プロジェクトの動画を視聴した薬剤師が任意で回答したアンケートを解析し、動画を利用した教育的手法の有効性を検討した。



(Marin D et al. J Clin Oncol, 2010;28:2381-8)

方法

2022年7月14日～2024年3月31日の期間に、CML解説動画を視聴した方を対象に、動画視聴前後でWebアンケートを実施した。視聴前アンケートに回答した後、CML解説動画を視聴し、その後、視聴者が任意のタイミングで視聴後アンケートURLにアクセスして回答した。アンケートでは、TKI治療に必要な服薬アドヒアランスやCML患者への対応の自信などを調査した。CML解説動画のタイトルは以下の通り。

慢性骨髄性白血病 CML
治療環境向上プロジェクト
薬剤師向け講習動画

疾患・薬剤に関する解説動画

- 慢性骨髄性白血病について
- 慢性骨髄性白血病とメシル酸イマチニブ
- 慢性骨髄性白血病第2世代、第3世代のTKIについて
- 慢性骨髄性白血病最近のトピック（断薬、妊娠について）
- 小児とAYA世代の慢性骨髄性白血病

薬剤師からのメッセージ動画

- CML患者仲間に寄り添う 薬剤師として
- 慢性骨髄性白血病について～薬剤師の立場から～

結果

動画視聴前および視聴後のアンケートへの回答者数は、それぞれ、389名、127名であった。

TKIの治療効果を得るために必要な服薬アドヒアランスについて、「90%以上」と回答した方の割合は、動画視聴前アンケート回答群で61.7%、動画視聴後アンケート回答群で92.1%と、動画視聴後アンケート回答群で有意（ $p < 0.01$ ）に高かった。

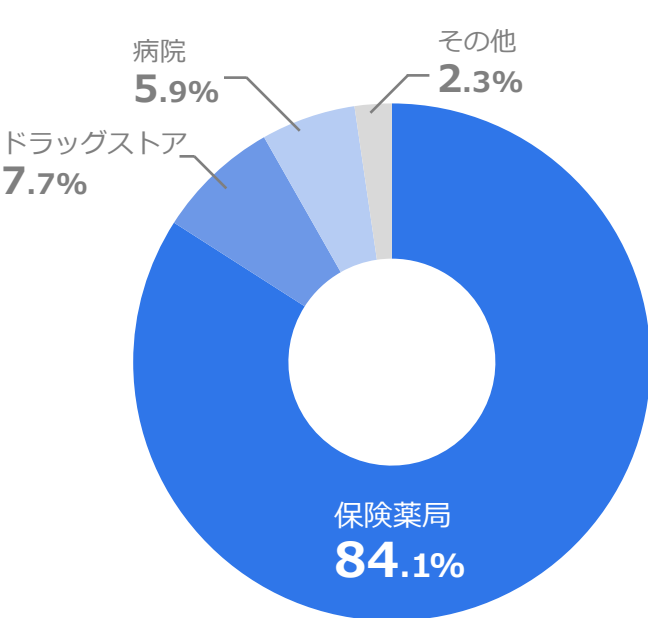
患者対応の自信について、(1) 副作用の説明ができる、(2) 副作用の対処について適切にアドバイスできる、(3) 服薬アドヒアランスの重要性を適切に説明できる、(4) 患者の年齢やライフイベントに応じたアドバイスができるの各項目について、「自信をもってできる」または「資料を確認しながらできる」と回答した方の割合は、動画視聴前アンケート回答群で(1) 51.4%、(2) 35.5%、(3) 46.3%、(4) 23.1%、動画視聴後アンケート回答群で(1) 100%、(2) 97.6%、(3) 99.2%、(4) 96.1%と、動画視聴後アンケート回答群で有意（ $p < 0.01$ ）に高かった。

動画視聴前アンケート

有効回答数：389名

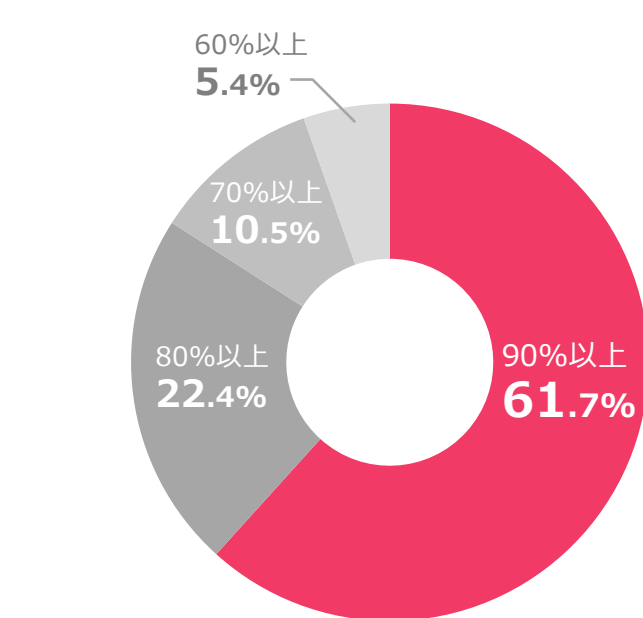
回答者の勤務先

・お勤め先を教えてください。



服薬アドヒアランス

・TKI治療に必要な服薬アドヒアランスは？

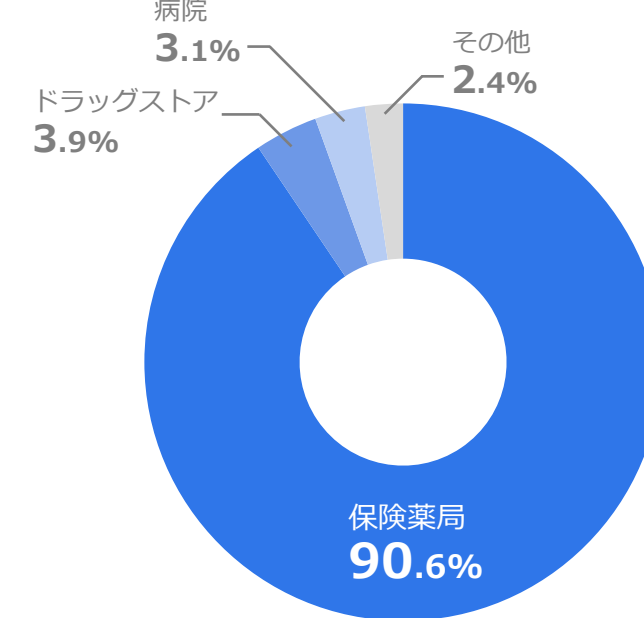


動画視聴後アンケート

有効回答数：127名

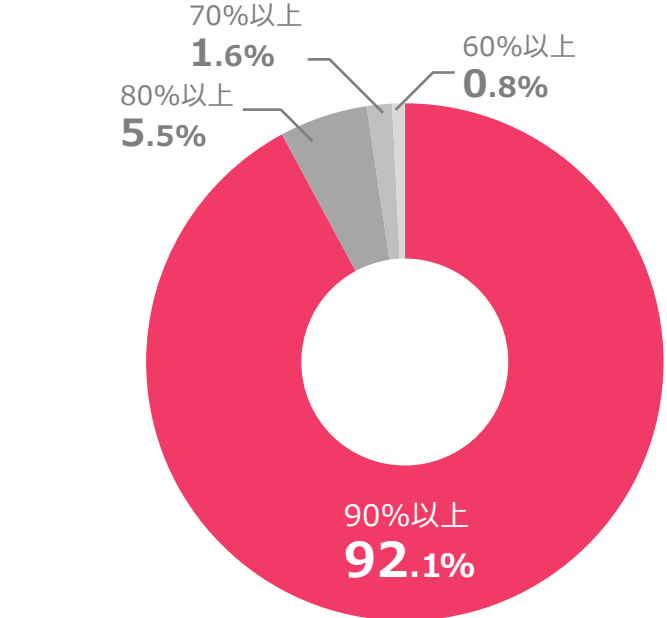
回答者の勤務先

・お勤め先を教えてください。



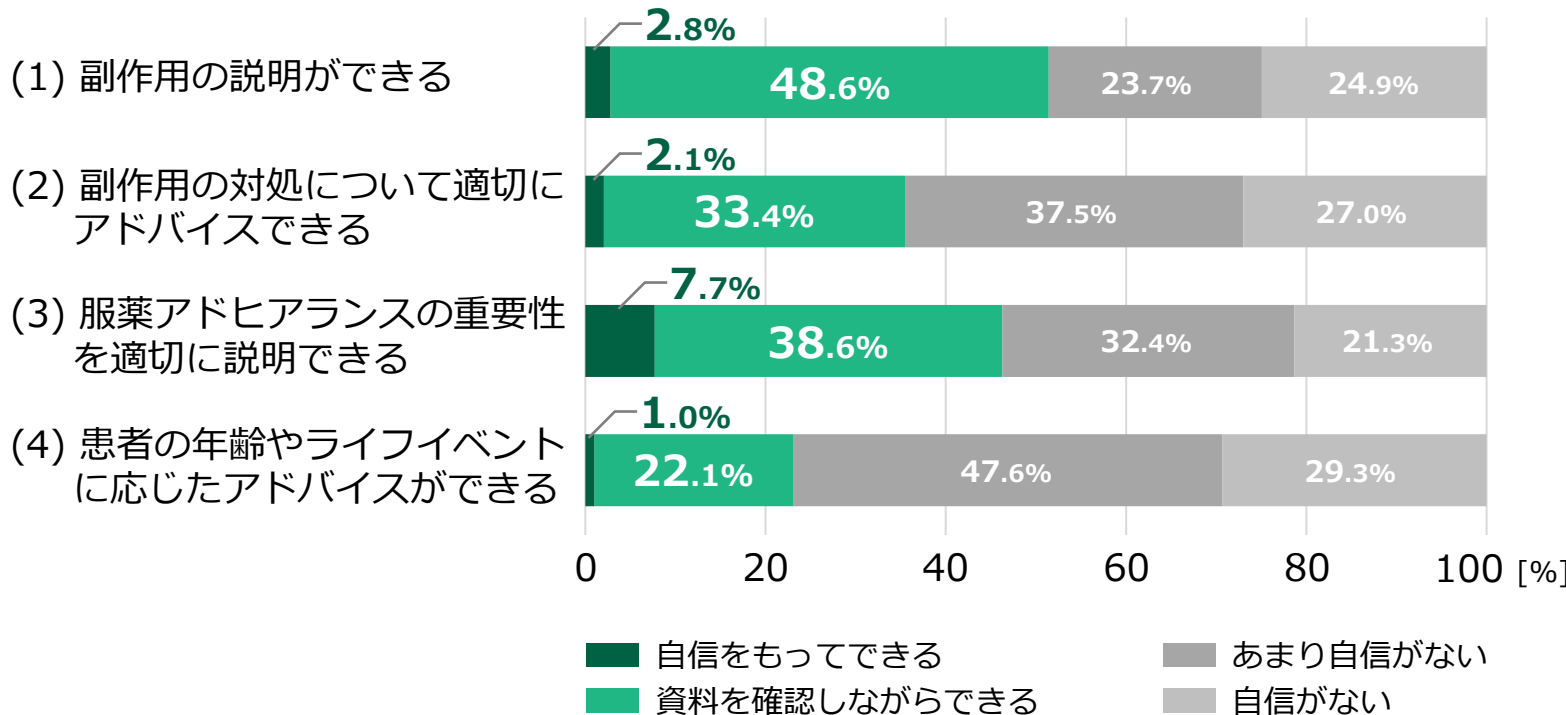
服薬アドヒアランス

・TKI治療に必要な服薬アドヒアランスは？



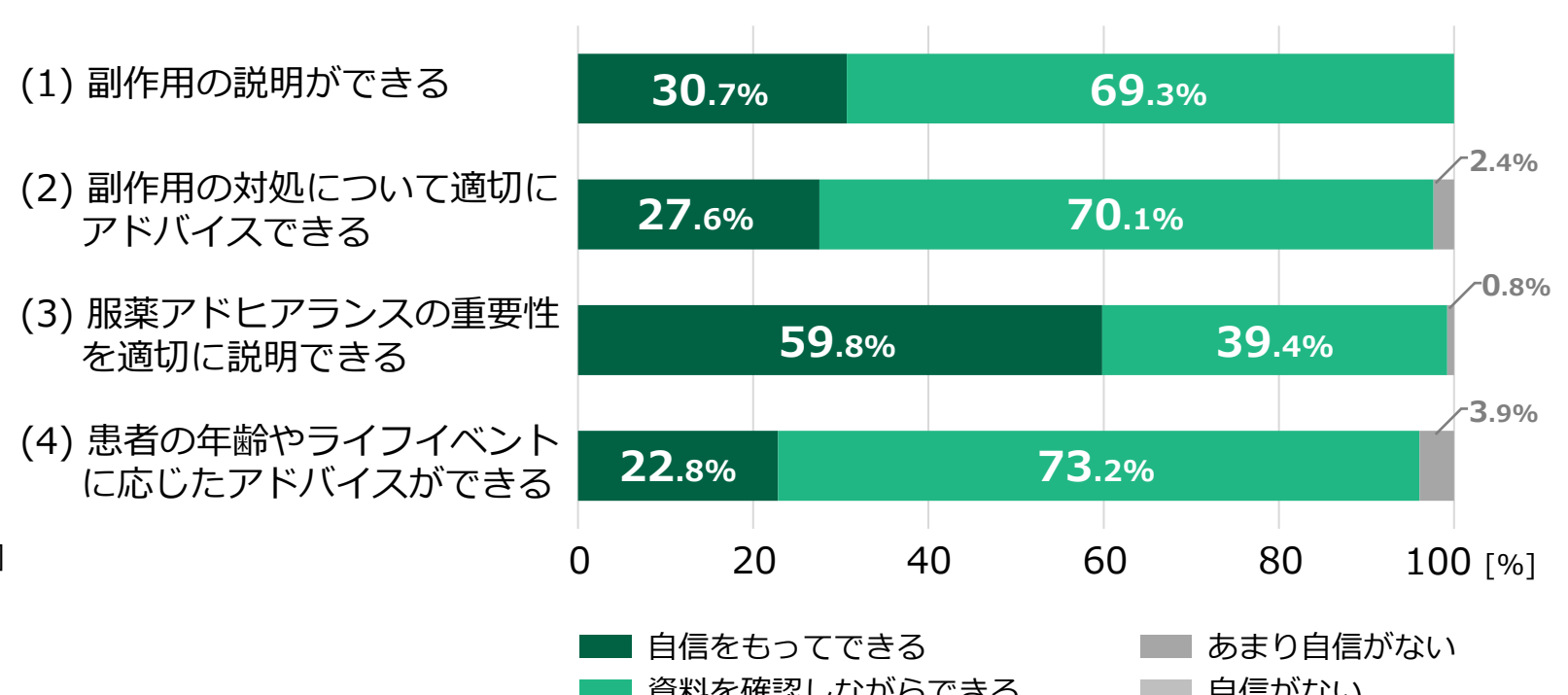
患者対応の自信

・今、CML患者に対し、どの程度自信をもって対応できますか。



患者対応の自信

・今、CML患者に対し、どの程度自信をもって対応できますか。



考察

認定NPO法人がんネットワークジャパンの「慢性骨髄性白血病（CML）治療環境向上プロジェクト」におけるCML解説動画の視聴は、薬剤師のCMLへの理解度を高め、患者説明における自信の向上につながる可能性が示唆された。

本プロジェクトは、認定NPO法人がんネットワークジャパンが受けた、ファイザー株式会社「医学教育プロジェクト：慢性骨髄性白血病（CML）の治療環境向上」の助成金により実施された。